

江戸川区食品ロス削減推進計画の概要

12 つくる責任
つかう責任



策定の背景と目的

1 背景

食品ロスとは、本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品のことをいう。区は平成28年度に「えどがわ食べきり推進運動」を開始し、これまで食品ロス削減の推進に向けて積極的に取り組んできた。この間、令和元年10月には、「食品ロスの削減の推進に関する法律」（以下、「食品ロス削減推進法」という。）が施行され、食品ロス削減の機運がさらに高まっている。それらを踏まえ、より一層の食品ロスの削減を推進するため、本計画を策定する。

2 目的

食品ロスを削減するために、**SDGsの視点**を踏まえ、区、区民及び関係団体・事業者等が緊密に連携しながら、主体的に食品ロスの削減に取り組み、食べ物を無駄にしない意識の醸成と定着を図る。

計画の内容

1 位置づけ

この計画は、食品ロス削減推進法等を踏まえながら、食品ロス削減の推進に向けた取り組みを定める。また、「(仮称)江戸川区共生社会ビジョン」、「Edogawa ごみダイエクトプラン(江戸川区一般廃棄物処理基本計画)」及び「エコタウンえどがわ推進計画」等との整合を図る。

2 計画期間

食品ロス削減をより一層推進するための期間として、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの10年間を計画期間とする。なお、国が定める基本方針の見直しを実施される場合には、その内容を踏まえて本計画を必要に応じて見直すものとする。

3 目標

【食品ロス量の削減目標】

平成22年度(2010年度)において推計された区内食品ロス量を基準とし、計画期間中にその量を**半減**することを目標とする。 ※参考：国⇒2000年度比で2030年度末までに半減 (単位：t)

	平成22年度 (2010年度) 推計値	令和元年度 (2019年度) 推計値	令和12年度 (2030年度) 目標値
家庭系	6,500	5,600	4,000 (家庭系+事業系)
事業系	2,000	1,900	
計	8,500	7,500	

※産業廃棄物等を除く



【食品ロスの削減に取り組んでいる区民の割合】

計画期間中に、食品ロスの削減に取り組む区民の割合を**100%**とする。
※参考：国⇒食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合を**80%**とする。

★令和2年度(第33回)区民世論調査

「食品ロスという言葉もしくは取り組みを知っている」 ⇒ 87.9%
「食品を無駄にしないための何らかの取り組みをしている」 ⇒ 72.0%

※参考：国⇒食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合=71.0% (平成30年度 消費者庁)

今後も推進する主な取り組み(実績・目標など)

◎えどがわ食べきり推進運動

○「30・10運動」の推進

☆お店・・・宴会では適量を注文、開始後30分間と終了前10分間は自分の席で飲食。
☆家庭・・・毎月10日と30日、家庭内の食材を確認し無駄なく調理。

○「食べきり推進店」の紹介

☆食べ残しの削減等に取り組む店舗を「食べきり推進店」としてホームページ等で紹介・応援。
☆表彰制度を検討。

【実績・目標】(累計)

令和元年度実績	令和12年度目標
310店舗	区内全店舗

○「食べきりレシピ」の募集及び紹介

☆捨てがち、余りがちな食材を使った食べきりレシピを募集、ホームページで紹介。レシピカードを作成、イベントなどで広く配布。
☆「全国おいしい食べきりネットワーク協議会」や他市区町村と連携。

【実績・目標】(累計)

令和元年度実績	令和12年度目標
64レシピ	500レシピ

○「フードドライブ」の実施

☆家庭からの未利用食品を区イベントやエコセンターで受け付け、フードバンクを通じて必要とする方々に提供。

【実績(参考)】

平成29年度	平成30年度	令和元年度
254kg	190kg	236kg

目標達成に向けた取り組み

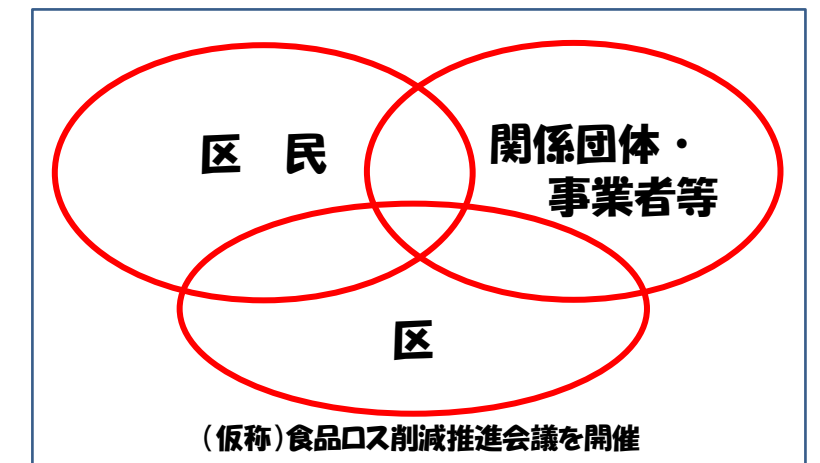
今後とも江戸川区は「食べきり推進運動」を精力的に継続し、SDGsの視点を踏まえつつ、区民及び関係団体・事業者等と緊密に連携しながら、食品ロスの削減に取り組んでいく。

それぞれの立場において主体的にこの課題に取り組み、社会全体として対応し、食べ物を無駄にしない意識の醸成とその定着を図っていくことが重要である。

先に掲げた目標の達成を目指し、区は食品ロスの削減に向けた取り組みを総合的に推進していく。

(連携する関係団体等の例)

- ・廃棄物減量等推進審議会
- ・食品衛生協会
- ・エコセンター
- ・フードバンク
- ・商店街・小売店・飲食店
- ・食品製造業
- ・保育園
- ・小・中学校、高等学校
- ・短期大学
- ・生産農家 など



「もったいない」を合言葉に、未来に向けてレッツ・チャレンジ!